

# something to write with, united fresh fruits.

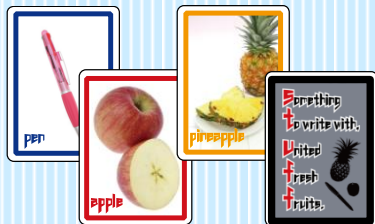


## このゲームは？

ペン、アップル、パイナップルの3種類のカードで遊ぶ、中毒性が高い（※元ネタが）世界的に人気の（※同じく元ネタが）カードゲームです。いわゆる出来心です。

## 内容物

- ・説明書（この紙です）
- ・カード 33枚（うち表面はペンカード、アップルカード、パイナップルカードが各11枚ずつ。裏面はすべて共通）



## ゲーム1. ゴーアウトゲーム「GOAP」

これはカードを早く出し切った人が勝利するゴーアウト（早抜け）系ゲームです。

2~5人で遊ぶことができますが、3~5人で遊ぶことを推奨します。プレイ時間は約45~90秒で、6歳以上向けです。

### 【準備】

すべてのカードをよくシャッフルします。

3人または5人で遊ぶ場合、上から2枚を裏向きのまま確認せずに除きます（この2枚をこのゲーム中に再び使うことはありません）。

2人または4人で遊ぶ場合、除くカードはありません。

カードを各プレイヤーに2山ずつ、それぞれ均等な枚数（詳しくは後述します）になるよう裏向きで配ります。

2人で遊ぶ場合…2人×2山×8枚

3人で遊ぶ場合…3人×2山×5枚

4人で遊ぶ場合…4人×2山×4枚

5人で遊ぶ場合…5人×2山×3枚

ここで、右手側に配られた山のカードは右手で、左手側に配られた山のカードは左手で操作しなければなりません。

何らかの障害により両手を使えない場合は、そのプレイヤーの1山分を除くとともに、バリアフリーの望ましい在り方について皆で考える機会を得たことに感謝します。

残りのカード1枚を全員の中央に表向きにして置いて、これを場札にします。

## 【ゲームの開始】

①全員で元ネタと思われる曲のタイトルを叫びながら、配られたカードの山を両手でそれぞれ表向きにします。

②配られたカードの山の一番上が場札と異なるカードである場合、そのカードの名前を叫びながら場札に重ねます。

このゲームにはプレイヤーの順番というありきたりな概念は存在しません。早い者勝ちでカードを重ねてください。

※複数のプレイヤーが同時に場札にカードを重ねようとした場合、最も早く場札に触れたカードを有効として、それ以外のカードは元あった山の一番上に戻します。

例。場札は「ペン」カードです。

Aさんの右手側にあるカードの山の一番上は同じく「ペン」カードで、これは場札に重ねることはできません。左手側にあるカードの山の一番上は「アップル」カードで、これは「アップル！」と叫びながら場札に重ねることができます。

③重ねられたカードを新たな山札として、「②」を続けていきます。

## 【ゲームの終了】

以下にあげる条件が生じたときに勝敗が決定し、そのゲームは終了します。

1. カードを重ねていく途中で「ペン」「パイナップル」「アップル」「ペン」の順に叫ばれながらカードが重ねられた場合は、最後の「ペン」を重ねたプレイヤーがゲームに勝利します。

2. 配られたカードをすべて重ねきったプレイヤーが出た場合は、そのプレイヤーがゲームに勝利します。
3. 場札およびプレイヤーに配られたカードの山の一番上がすべて同じカードになってどのカードも重ねられない、あるいは1.の条件が見込まれるために意図的に重ねたくないなど、プレイが膠着した場合は、配られたカードの残り枚数を数えるという面倒なことをしなければならないため、全員がゲームに敗北しています。

## ゲーム2. 推理ゲーム「VSAP」

これは相手が持っているカードを推測して、条件を達成する推理系ゲームです。

2人でのみ遊ぶことができます。3人以上で遊びたい場合は適宜交代するか、より面白い別のルールを考えてください。プレイ時間は約1~5分で、6歳以上向けです。

### 【準備】

まずは先攻・後攻を決めます。

最近ペンをリングに刺したプレイヤーが食べ物で遊んでしまったことを強く反省しながら先攻になりますが、そんな非道な行いと無縁なプレイヤーばかりが集まった場合は、素直にじゃんけんで決めてください。

以降は便宜上（というか悪ノリで）、先攻のプレイヤーを「セコ太郎」、後攻のプレイヤーを「ココ太郎」と呼びます。

すべてのカードをよくシャッフルします。11枚ずつ3つに分け、それぞれ1~3ラウンド目で使う山札にします。

### 【ゲームの目的】

セコ太郎とココ太郎が同じターンに出したカードが以下の組み合わせであった場合（出された順は問わない）、役が生じます。

- ・「ペン」と「アップル」の組み合わせ  
→役「アップルペン」が成立
- ・「ペン」と「パイナップル」の組み合わせ  
→役「パイナップルペン」が成立

ココ太郎は1ラウンドの3ターン中に以下の条件を達成できれば、そのラウンドに勝利します。

- ・役「アップルペン」が3回成立する
- ・役「パイナップルペン」が3回成立する
- ・役「アップルペン」と役「パイナップルペン」の両方が各1回以上成立する

達成できなければセコ太郎が勝利します。3ラウンド中2ラウンドで勝利した者がそのゲームに勝利します。

### 【ゲームの開始】

①ラウンドを開始します。山札の11枚をセコ太郎に6枚、ココ太郎に5枚配り、それぞれ手札にします。

②まずセコ太郎が手札から任意の1枚を、相手が確認できるよう表向きで捨札にして、脇に除けます（この捨札をこのゲーム中に再び使うことはありません。以降、捨札の処理は同様です）。次にココ太郎が同様に捨札します。

さらにセコ太郎が同様に捨札し、両者とも手札を4枚にします。

③ターンを開始します。セコ太郎が手札から任意の1枚を、そのカードの名前を叫びながら表向きで中央に出します。ココ太郎はこれを確認した後、手札から任意の1枚を表向きで中央に出します。この時に役が成立した場合は、その役の名前を高らかに宣言してください。

④「③」を3回繰り返して、ラウンドの勝者を決定します。手札に残った1枚は使用するこなく捨札にします。

⑤「①~④」を3回繰り返して、ゲームの勝者を決定します。

## 奥付

something to write with,  
united fresh fruits.

2017年5月14日初版(再版予定なし)

### 【ゲームデザイン/イラスト】

粒幸久（一部フリー写真素材利用）

内容物の不備やルールの不明点などありましたら、下記あてお問い合わせください。

Web <http://wisteria.blog.jp>

Mail [ugcw@outlook.jp](mailto:ugcw@outlook.jp)

twitter @o\_2pr